



ファームウェアバージョン:	R4.3.0.10B001C
ハードウェアバージョン:	A1
発行日:	2019/1/30

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	5
追加機能：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	7

## 変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	製品名	ハードウェアバージョン
ランタイム: R4.3.0.10B001C	2019/1/30	DWL-8610AP	A1

## アップグレード手順：

ブートローダのアップグレードを伴うため、複数回アップグレードを実施する必要があります。最初に R4.3.0.2.B0665T、次に R4.3.0.2.B0666T を適用し、最後に R4.3.0.10B001C を適用します。詳細は下記の手順を参照してください。

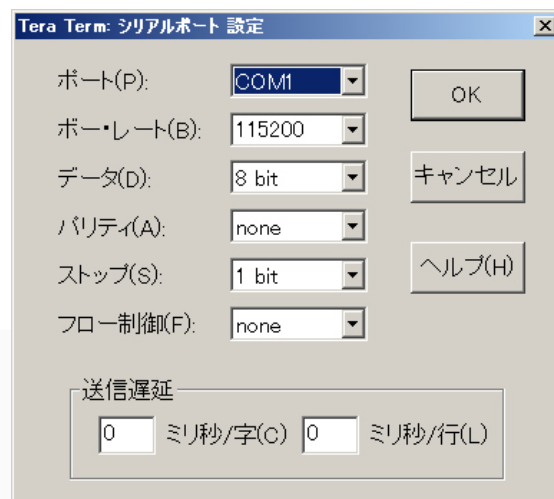
R4.3.0.5B001C または R4.3.0.6 のファームウェアをご使用の場合、ブートローダのバージョンが既に v1.03 となっている可能性があります。その場合、R4.3.0.2.B0665T/R4.3.0.2.B0666T の適用は不要であり、直接 R4.3.0.10B001C へアップグレードしていただけます。

ファームウェアのアップグレードは、CLI（シリアルポート）もしくは Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード](#)」もしくは「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

### CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

#### 【事前準備】

1. PC 上で TFTP サーバを有効にします。  
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいってください。)
2. RJ-45 シリアルケーブルを使用して、PC とシリアルポート（コンソールポート）を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)
  - ボーレート：115200
  - データビット：8
  - パリティ：none
  - ストップビット：1
  - フロー制御：none
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。  
※初期値/ユーザ名：「admin」、パスワード：「admin」



#### 4. ログイン後、下記コマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
Firmware-upgrade {url}	TFTP サーバからアクセスポイントにファームウェアをダウンロードし、アップグレードを実施します。
bootenv -d bootver	現在のファームウェアバージョンを表示します。
bootenv -d altbootver	
bootenv -d DLINK_CFE_VER	ブートローダバージョンを表示します。

#### 【アップグレード手順】

##### 1. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) 以下のコマンドを実行し、現在のブートローダバージョンを確認します。R4.3.0.5B001CまたはR4.3.0.6で、以下の赤字部分のように、ブートローダが既にv1.03となっている場合、手順（5）に進んでください。R4.3.0.2B0665TとR4.3.0.2B0666Tの適用は不要です。

```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d DLINK_CFE_VER
CFE v1.03
DLINK-WLAN-AP#
```

(2) ファームウェアR4.3.0.2.B0665Tを本製品にダウンロードします。

```
DLINK-WLAN-AP# firmware-upgrade tftp://10.90.90.100/DWL-8610_FW_v_4.3.0.2B0665T.tar
Initializing for firmware upgrade...
Multiple '.'s detected
DWL-8610_FW_v_4.3.0. 70% |*****| 16559k 00:00:04 ETA
```

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびシステムの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

**注意：R4.3.0.2B055C より新しいファームからのアップグレードの場合、ブートオプションをセットするため自動で3回再起動します。**

ファームウェアのアップグレードが正常に完了すると、システムの再起動後に以下のメッセージが表示されます。

```
Boot Successful - Config Ok
```

(3) Enterキーを押下し、再度ログインします。

(4) (2)と同様の手順で、R4.3.0.2B0666Tを適用します。

(5) (2)と同様の手順で、R4.3.0.10B001Cを適用します。

(6) R4.3.0.10B001Cへのアップグレードが完了した後、以下のコマンドを実行します。ファームウェアバージョンが4.3.0.10B001C、ブートローダバージョンがv1.03となっていることを確認してください。

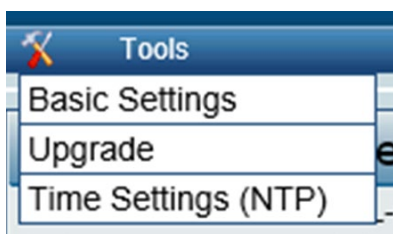
```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d bootver  
4.3.0.10B001C
```

```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d altbootver  
4.3.0.10B001C
```

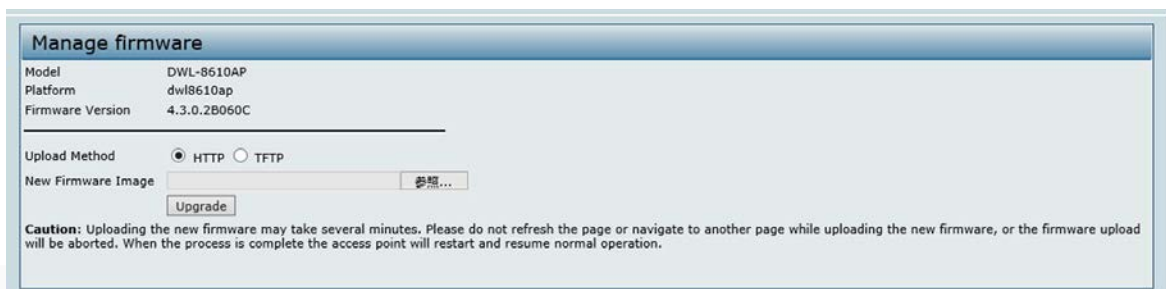
```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d DLINK_CFE_VER  
CFE v1.03  
DLINK-WLAN-AP#
```

### Web GUIを使用したアップグレード

1. CLI の手順を参照し、現在のブートローダバージョンを確認します。R4.3.0.5B001C または R4.3.0.6 でブートローダが既に v1.03 となっている場合、R4.3.0.2B0665T と R4.3.0.2B0666T の適用は不要です。R4.3.0.10B001C のみ適用してください。
2. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。  
※ 工場出荷時状態の IP アドレスは http://10.90.90.91 です。  
※ IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。
3. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。  
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードは「admin」です。
4. ログイン後、上部のメニューから「Tools」 -> 「Upgrade」の順でクリックします。



5. 「HTTP」または「TFTP」を選択します。



6. 以下の手順を参照し、最初に R4.3.0.2.B0665T を適用します。R4.3.0.5B001C または R 4.3.0.6 でブートローダが既に v1.03 となっている場合、R4.3.0.2B0665T と R4.3.0.2B0666T の適用は不要です。手順 8 に進み、R4.3.0.10B001C を適用してください。

### HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。  
※R4.3.0.2B055C より新しいファームからのアップグレードの場合、ブートオプションをセットするため自動で 3 回再起動します。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびシステムの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。  
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

#### TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [Image Filename]と[Server IP]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。  
※R4.3.0.2B055C より新しいファームからのアップグレードの場合、ブートオプションを設定するため自動で3回再起動します。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびシステムの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。  
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

7. 同様の手順で、R4.3.0.2.B0666T を適用します。

8. 同様の手順で、R4.3.0.10B001C を適用します。

9. R4.3.0.10B001C へのアップグレードが完了した後、CLI コンソールで下記のコマンドを実行し、ファームウェアバージョン及びブートローダバージョンが正しくアップグレードされていることを確認してください。

```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d bootver  
4.3.0.10B001C
```

```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d altbootver  
4.3.0.10B001C
```

```
DLINK-WLAN-AP# bootenv -d DLINK_CFE_VER  
CFE v1.03  
DLINK-WLAN-AP#
```

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.3.0.10B001C	特になし。

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.3.0.10B001C	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 稀に、正常に起動できなくなることがある問題を修正致しました。</li> <li>2. 2.4GHz 帯域のパフォーマンスを改善致しました。</li> <li>3. WPA2 脆弱性「KRACK」を修正致しました。</li> <li>4. コントローラ配下で管理モードにおいて動作している場合、DHCPv6 クライアントのトラフィックが正しく処理されない問題を修正致しました。</li> <li>5. キャプティブポータル使用時の負荷が高い場合（10 ユーザが頻繁にログイン/ログアウトするなど）に、クライアントが DHCP サーバから IP アドレスを取得できない問題を修正致しました。</li> <li>6. 管理コントローラでキャプティブポータルが有効化されている場合に QoS 帯域設定が動作しない問題を修正致しました。</li> <li>7. DFS 検知時に、Auto Eligible Channel 以外の Channel へ遷移する場合がある問題を修正致しました。</li> <li>8. DWC-2000 にて管理し、Hide SSID を設定しても ESSID が広告される場合がある問題を修正致しました。</li> </ol>

## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R4.3.0.10B001C	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. SNMP ページでトラップ、ホスト名もしくは IP アドレスのコミュニティ名において、最大文字数で設定できない問題</li> <li>2. Admin モードが無効な場合でさえ、Email アラートページを設定できる問題</li> <li>3. クラスタリングページにアクセスしようとすると、デバイスがクラスタリングから自動的に切断され、エラーが発生する問題</li> <li>4. 10Mbps 以上に設定した場合、帯域制限ダウン機能が動作しない問題</li> <li>5. 認証タイプで None が選択されても認証キーがグレイアウトしない問題</li> <li>6. Radio をオフに変更した際、Disassociation パケットを送信しない問題</li> <li>7. 手動から NTP に変更した場合に、ページをリフレッシュしても時間が更新されない問題</li> <li>8. WDS を使用した際、対向の AP のスタティックチャネルが時々変わることがある問題</li> <li>9. SSID が WEP オープンシステムに設定されている場合に、WLAN クライアントが共有キー認証で接続できる問題</li> <li>10. カスタムポートを使用してクラスタリングセットアップをすると、IP アドレスをクリックしても他の AP の GUI にアクセスできない問題</li> </ol>



***Copyright 2006-2019 D-link Japan K.K.***